

小中一貫教育だより

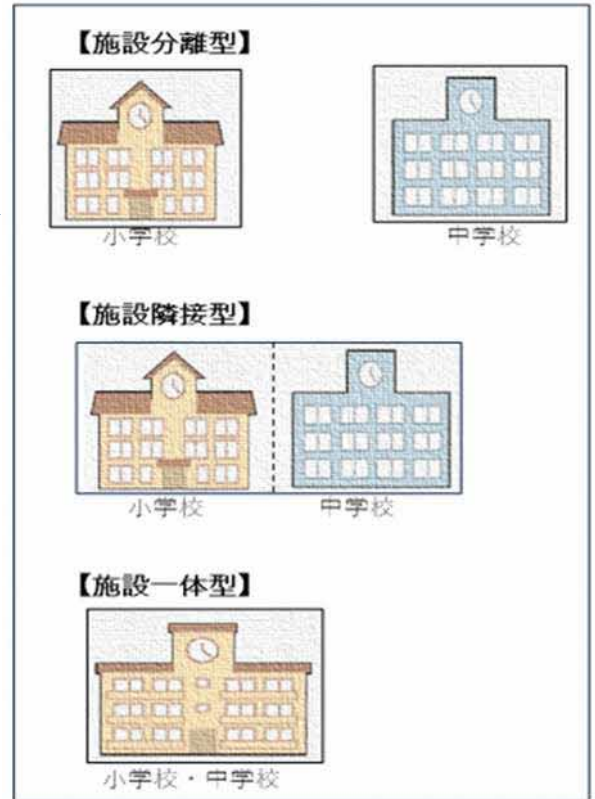
今回の「小中一貫教育だより第5号」では、「小中一貫校の施設形態」「4・3・2制」について掲載します。皆様に小中一貫教育について、少しでもご理解頂ければ幸いです。

小中一貫校の施設形態

小中一貫校は、学校の立地によって施設形態が以下の3種類に分かれます。

- ① 施設分離型
離れた場所にある小学校と中学校で一貫教育を行う
- ② 施設隣接型
隣接する小学校と中学校で一貫した教育を行う
- ③ 施設一体型
同一の校舎で小学校と中学校が一貫して教育を行う

令和10年度開校予定の滝野学園も含め、加東市内の3学園ともに、施設一体型にあたります。



【 小中一貫校の施設形態 】

加東市の小中一貫校では、9年間の義務教育期間を「4－3－2制」という3つのステージに分けて教育活動を行っています。現在の学制が導入された戦後すぐに比べ、子どもの心身の成長は約2歳早まっていることが指摘されています。子どもに合わせた学校の区切りにより、小学校から中学校の段差が少なくなり、スムーズな接続を図ることができます。中1ギャップと呼ばれる問題が緩和・解消され、安心して学習にも取り組めることによる学力の向上などの効果が期待されます。



【 加東市の小中一貫教育のグランドデザイン 】